

アジア太平洋ヘルスサポート学会 第15回学術集会・総会

シンポジウム1：「With コロナ時代のヘルスサポート」

withコロナ時代の医療の在り方

2020.09.11（金）

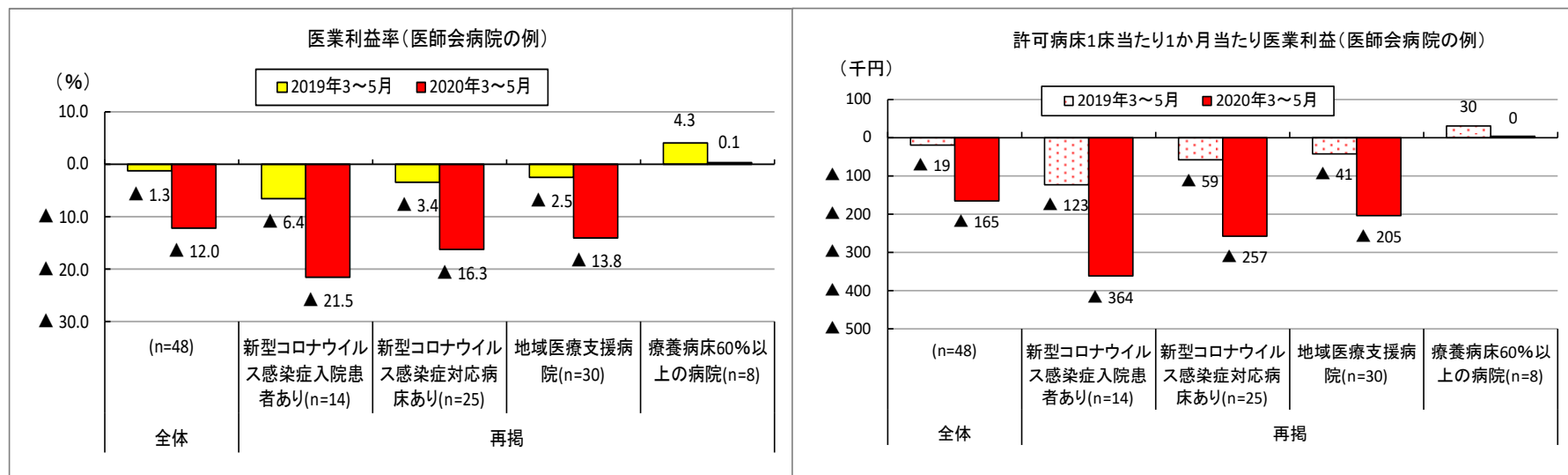
医療法人博仁会 志村大宮病院 理事長・院長
茨城県医師会 会長
鈴木 邦彦

1.医師会・病院団体への影響と対応

病院経営

新型コロナウイルス感染症入院患者ありの病院はもちろん、療養病床主体の病院も含めて、病院全体で医業利益率▲10%を超える赤字である。

1床当たりの金額も1か月当たりですら大幅な赤字であり、今後の継続的な支援がなければ、医療崩壊の危機にある。



1病院1か月当たり医業利益は、

- ・新型コロナウイルス感染症入院患者ありの病院 前年▲31百万円→今年▲93百万円
- ・新型コロナウイルス感染症対応病床ありの病院 前年▲14百万円→今年▲60百万円

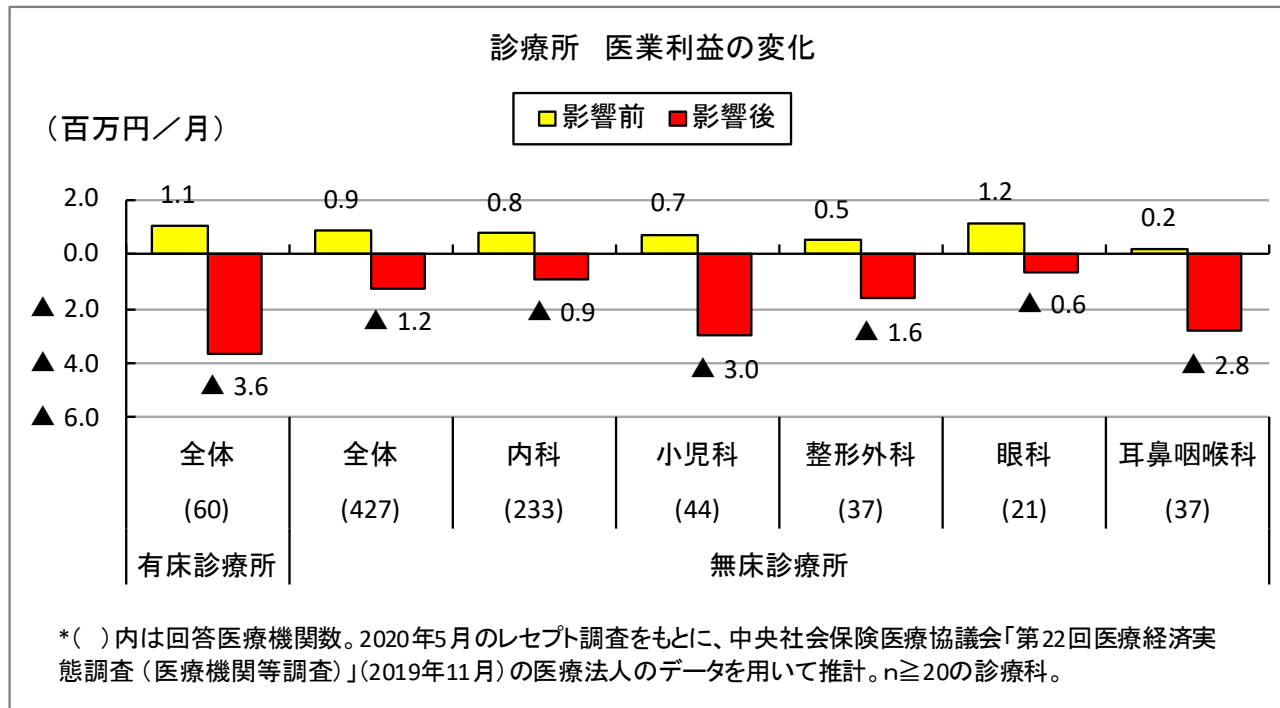


一例として、救急・周産期・小児医療機関で院内感染防止対策を講じ、入院患者を受け入れた場合50百万円の支援金。

診療所 医業利益への影響

医業利益は1か月当たりで、有床診療所で▲3.6百万円、無床診療所全体で▲1.2百万円、小児科で▲3.0百万円、耳鼻咽喉科で▲2.8百万円であった。

➡ 感染防止の取り組みを行う保険医療機関への補助金(上限)は、有床診療所2百万円、無床診療所1百万円で1回限り。



収入は、2020年5月の入院外総点数対前年同月比をもとに、その他の収入も同様に变化したと仮定して推計。

変動費: 医薬品費、材料費、委託費

固定費: 給与費、減価償却費、その他の医業・介護費用(消耗品費、光熱水費、土地・建物賃借料、通信費、その他)

その他の医業・介護費用には変動費的な経費も含まれているが、切り分けられないため固定費として扱った。

新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査 (2020年8月6日)

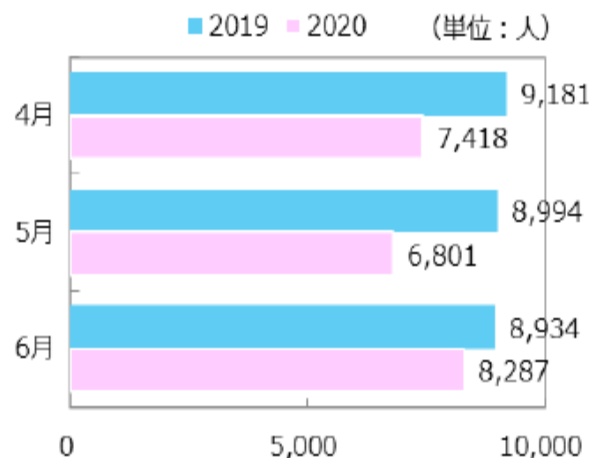
日本病院協会・全日本病院協会・日本医療法人協会

■外来患者統計

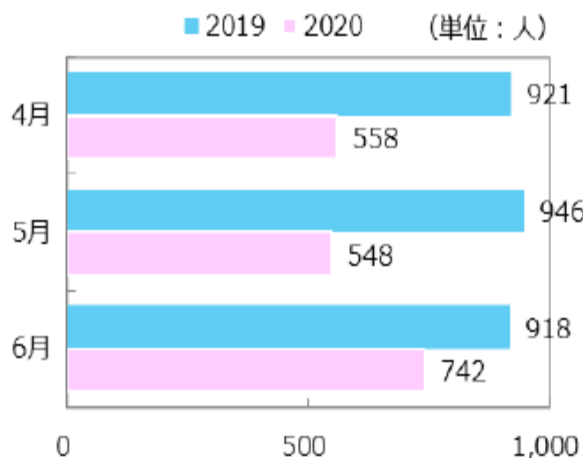
n=1,452

(単位：人)	2019年			2020年		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
外来患者延数	9,181	8,994	8,934	7,418	6,801	8,287
初診患者数	921	946	918	558	548	742
(再掲) 紹介状あり	337	325	342	221	199	292

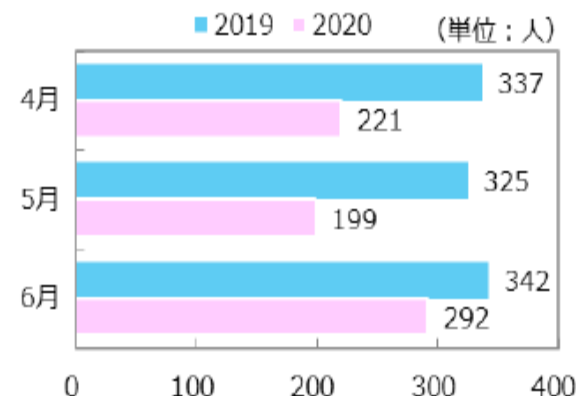
外来患者延数



初診患者数



(再掲) 紹介状あり



新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況の調査 (2020年8月6日)

日本病院協会・全日本病院協会・日本医療法人協会

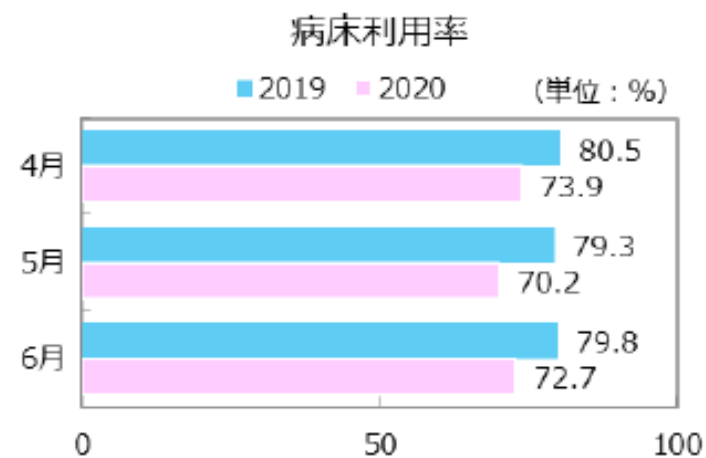
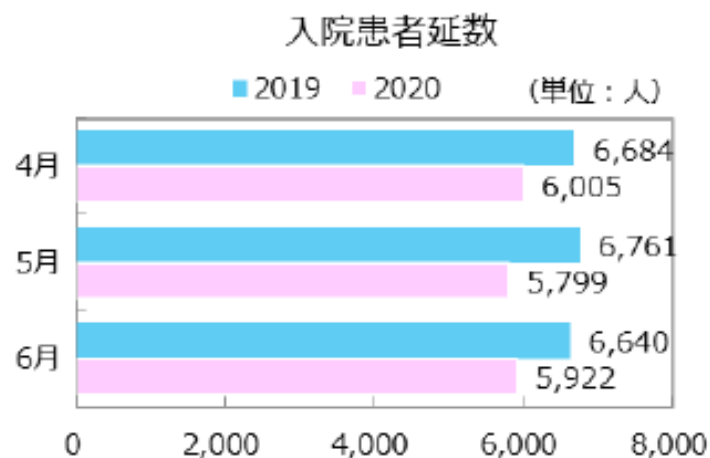
■入院患者統計

n=1,455

	2019年			2020年		
	4月	5月	6月	4月	5月	6月
月間日数(日)	30	31	30	30	31	30
在院患者延数(人)	6,312	6,407	6,272	5,689	5,524	5,607
新入院患者数(人)	366	363	362	300	269	327
退院患者数(人)	372	353	367	315	275	314
入院患者延数(人) ※1	6,684	6,761	6,640	6,005	5,799	5,922
病床利用率(%) ※2	80.5	79.3	79.8	73.9	70.2	72.7

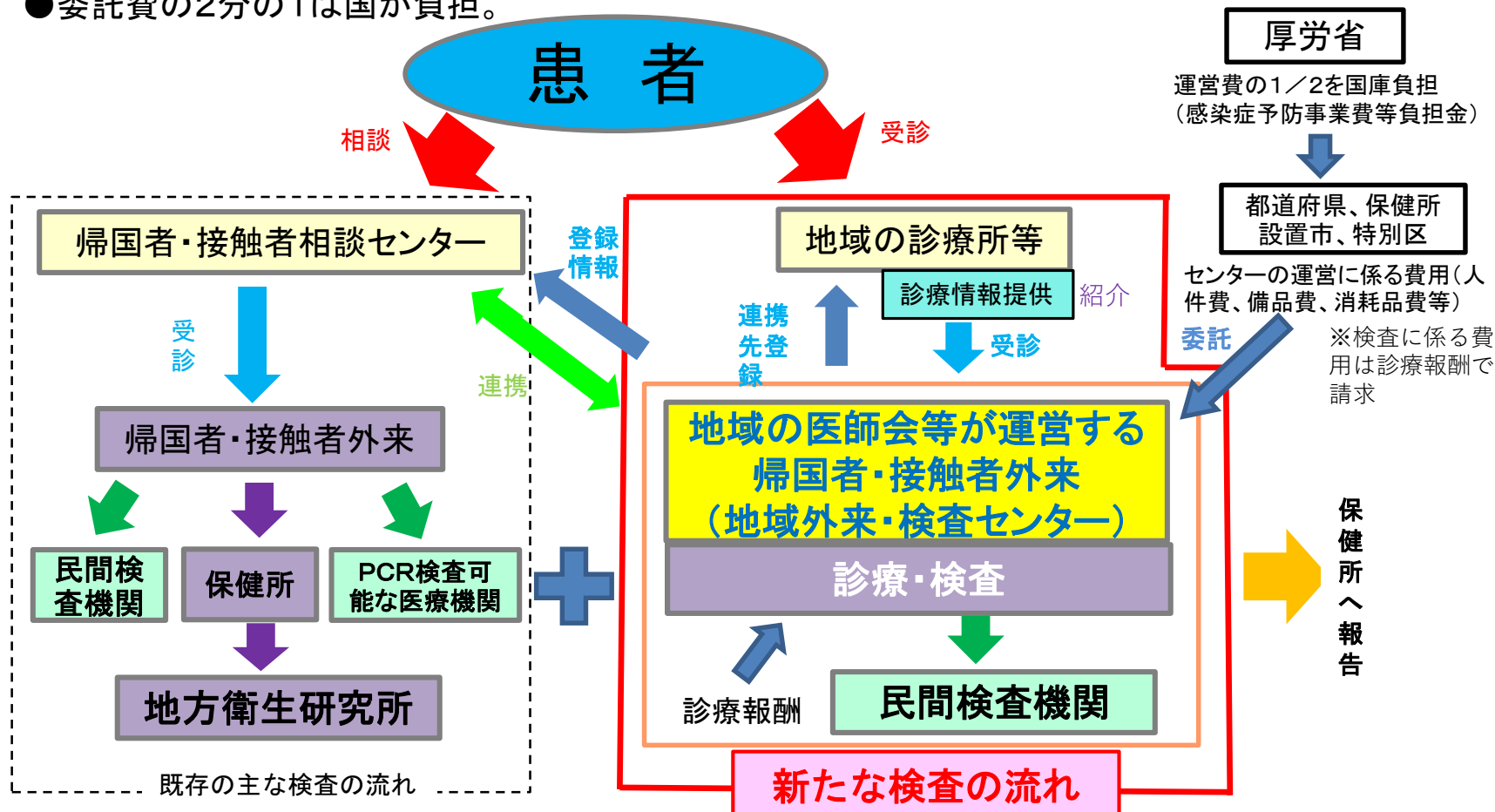
※1：在院患者延数+退院患者数

※2：在院患者延数÷(月間日数×許可病床数_合計)×100



PCR検査の拡充について

- 感染者の拡大が続いている地域においては、帰国者・接触者相談センターの業務が増加しており、PCR検査を必要とする患者に適切に検査を実施する体制を早急に整える必要がある。
- 地域の実情に応じて、行政と医師会等の関係団体と十分協議のうえ、地域の医師会等が運営する帰国者・接触者外来(地域外来・検査センター)を設け、PCR検査体制を増強する。
- 委託費の2分の1は国が負担。



(出所) 令和2年4月15日付事務連絡「行政検査を行う機関である地域外来・検査センターの都道府県医師会・郡市区医師会等への運営委託等について」厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部発出

二次補正予算案における医療機関支援の概要

○ 新型コロナウイルス感染症の事態長期化・次なる流行の波に対応するため、新型コロナ対応を行う医療機関に対する支援と併せて、その他の医療機関に対する支援を実施

一次補正での対応 → 医療提供体制整備等の緊急対策

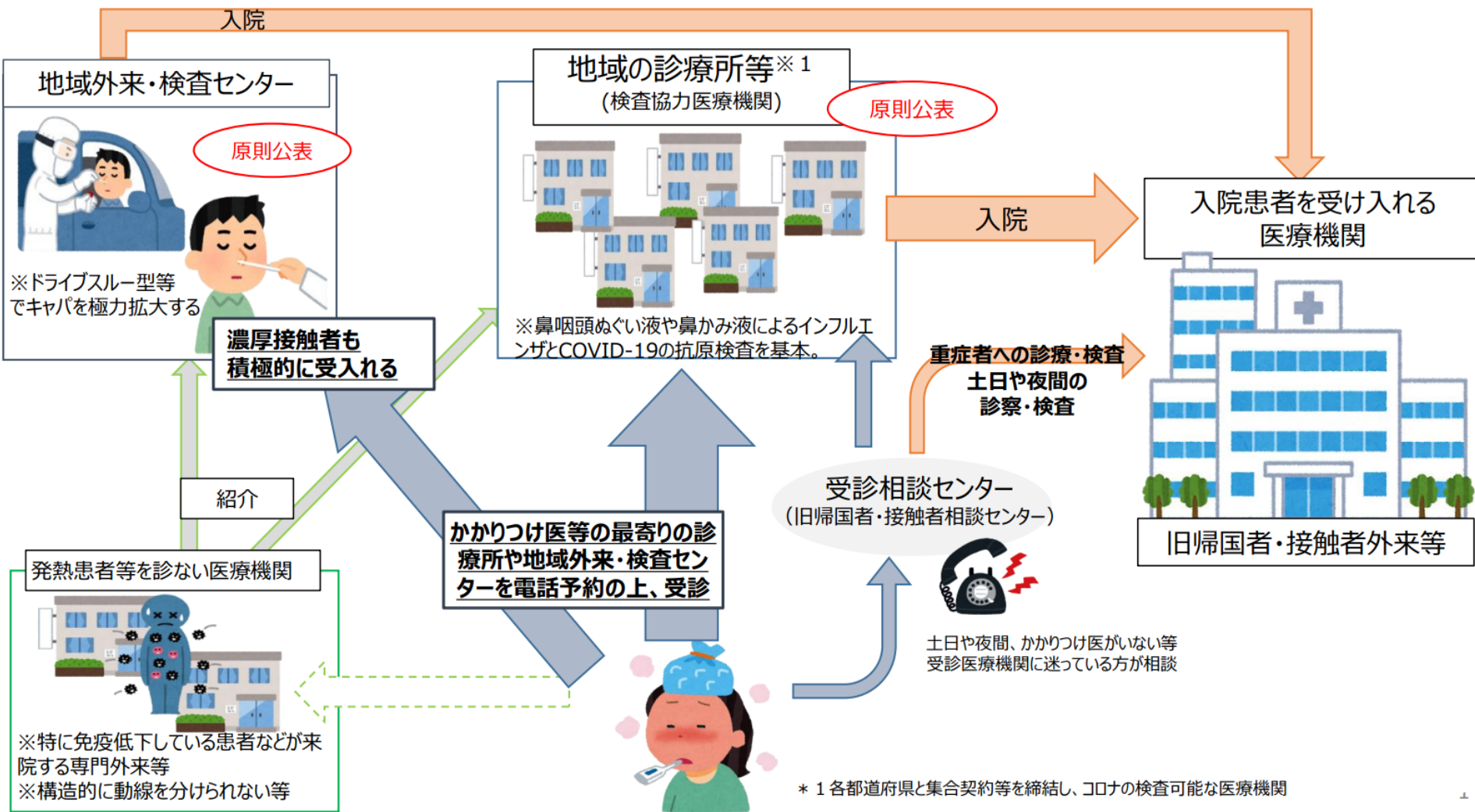
- ① 新型コロナ緊急包括支援交付金の創設（国費1490億円）
 - ・ 診療報酬では対応が困難な、空床確保、宿泊療養の体制整備、応援医師等派遣などを支援
- ② 診療報酬の特例的な対応（一次補正とは別途の措置）
 - ・ 重症の新型コロナ患者への一定の診療の評価を2倍に引き上げ
 - ・ 医療従事者に危険手当が支給されることを念頭に、人員配置に応じて診療報酬を引き上げ
 - ・ 一般の医療機関でも、新型コロナ疑い患者に感染予防策を講じた上で診療を行った場合に特例的な評価等
- ③ マスク、ガウン、フェイスシールド、消毒用エタノール等の確保、医療機関への配布、人工呼吸器の輸入・国内増産による確保
- ④ 福祉医療機構の優遇融資の拡充
 - ・ 償還期間の更なる延長（10年→15年）（予備費（第二弾）で措置）
 - ・ 貸付限度額の引上げ（病院：貸付対象外→7.2億円、診療所300万円→4000万円）
 - ・ 無利子・無担保融資の創設（利子・担保あり→無利子枠：病院1億円、診療所4000万円、無担保枠：病院3億円、診療所4000万円）等

二次補正での対応 → 事態長期化・次なる流行の波への対応

- ① **新型コロナ緊急包括支援交付金の増額及び対象拡大（全額国費により措置）** 16,279億円
 - ・ **既存の事業メニュー**について、事態長期化・次なる流行の波への対応として増額 3,000億円
※ このほか、一次補正の都道府県負担分（1,490億円）を国費で措置
 - ・ **新規の事業メニュー**として、以下の事業を追加 11,788億円
 - ① **重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）の病床確保等**
 - ② **患者と接する医療従事者等への慰労金の支給**
 - ③ **新型コロナ疑い患者受入れのための救急・周産期・小児医療機関の院内感染防止対策**
 - ④ **医療機関・薬局等における感染拡大防止等の支援**
- ② **診療報酬の特例的な対応**（二次補正とは別途の措置）
 - ・ **重症・中等症の新型コロナ患者への診療の評価の見直し**（3倍に引き上げ）
 - ・ **重症・中等症の新型コロナ患者の範囲の見直し**（医学的な見地から引続き管理が必要な者を追加）等
- ③ マスク、ガウン、フェイスシールド、手袋等の確保、医療機関等への配布 4,379億円
※ この他、新型コロナウイルス感染症対策予備費により1,680億円を措置
- ④ **PCR等の検査体制のさらなる強化**
 - ・ **地域外来・検査センターの設置、研修推進、PCR・抗原検査の実施** 366億円
 - ・ PCR検査機器の整備、相談センターの強化 【新型コロナ緊急包括支援交付金の内数】
 - ・ 検査試薬・検査キットの確保 179億円
 - ・ 抗体検査による感染の実態把握 14億円 等
- ⑤ **福祉医療機構の優遇融資の拡充等** 貸付原資として1.27兆円を財政融資
 - ・ **貸付限度額の引上げ**
 - ・ **無利子・無担保融資の拡大**
 - ・ 6月の資金繰り対策としての**診療報酬の概算前払い**

秋冬に向けた発熱者等の相談・外来診療・検査フロー（案）

- 2020年度冬季には、インフルエンザ疑いでもある発熱患者が相当程度(近年の実績から最大年間3,000万人(1日最大36万人))発生する可能性を踏まえて、発熱患者が確実に医療機関を受診できるよう、**帰国者・接触者相談センターを介さずに、かかりつけ医等地域で身近な医療機関で発熱患者の診察・検査を行える体制を構築する必要がある**のではないかと。
- そのため、一般の医療機関において、必要な感染予防策を講じた上で外来診療・検査を行う体制を整備する。その上で、**発熱患者の診察・検査を行う医療機関を公表し、事前に電話予約の上、受診することを徹底**するよう周知。



新型コロナウイルス感染症の重点医療機関の体制整備

事業目的

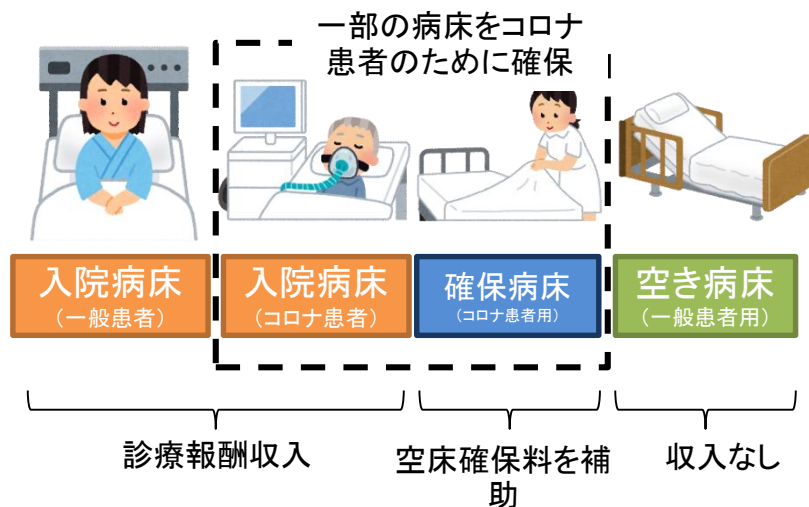
重点医療機関（新型コロナウイルス感染症患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）において、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制を確保するため、空床確保料を補助することにより、適切な医療提供体制を整備する。

事業内容

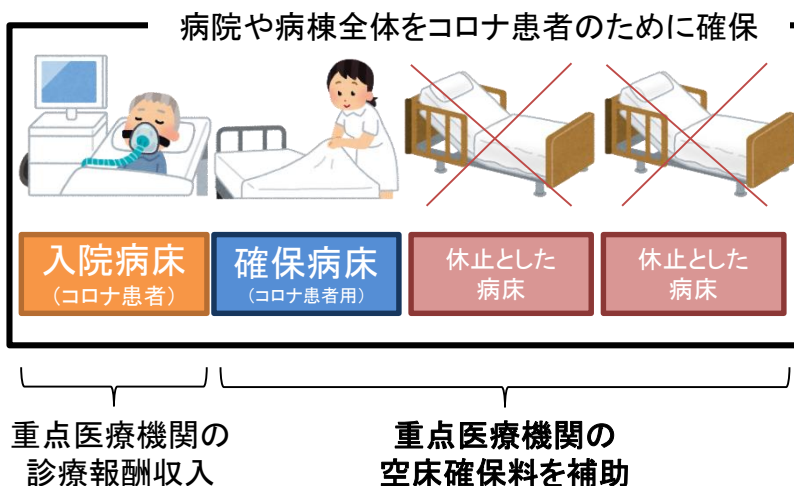
新型コロナウイルス感染症患者対応のため、重点医療機関として病床を整備した医療機関に対し、患者の迅速な受入体制確保の観点から、患者を受け入れていない病床に対する空床確保料として、相当額を補助する。

※ I C U の空床確保の例：97千円（一般の医療機関）→301千円（重点医療機関）

（一般の医療機関）



（重点医療機関）

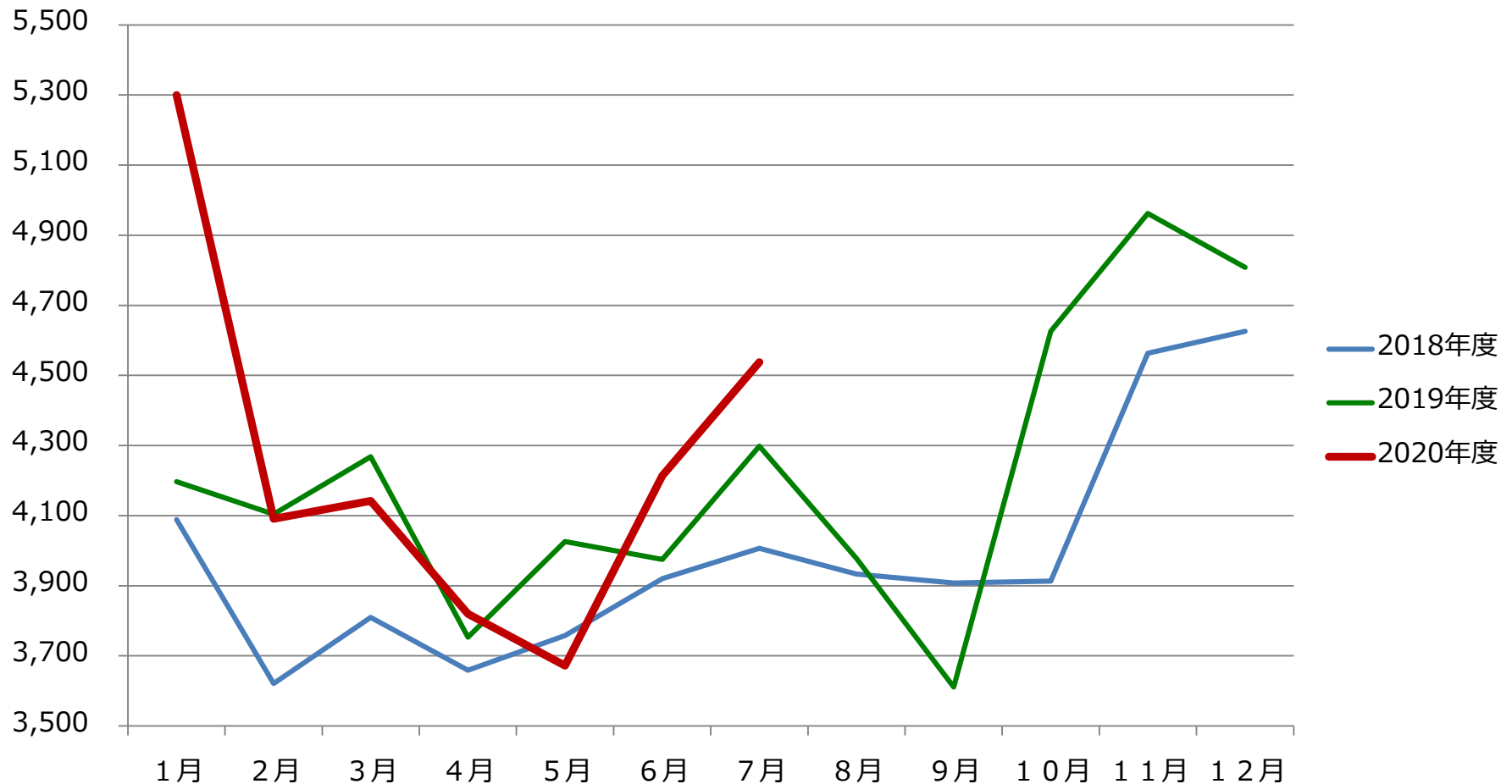


2.当グループへの影響と対策

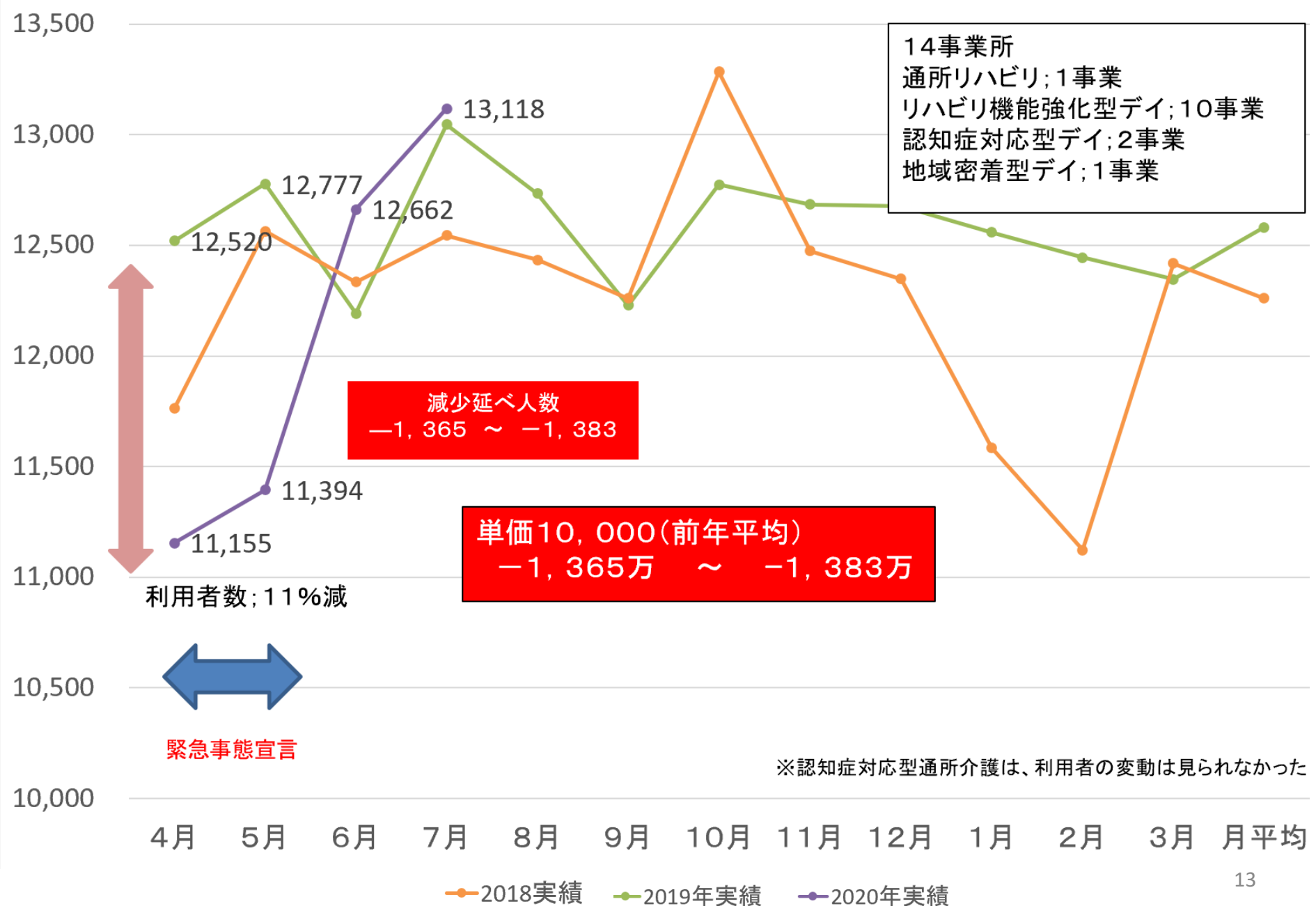
- ◆影響の大きかった外来、健診センター、通所系サービス
- ◆訪問サービスへの変更により影響がなかった(看)小規模多機能
- ◆入院・入所は、影響がなかった
- ◆訪問系サービスは、微増
- ◆有限会社による、移動販売等の売上増加

外来患者推移 (延べ患者数：2018年・2019年・2020年比較)

医療法人博仁会 志村医大宮病院

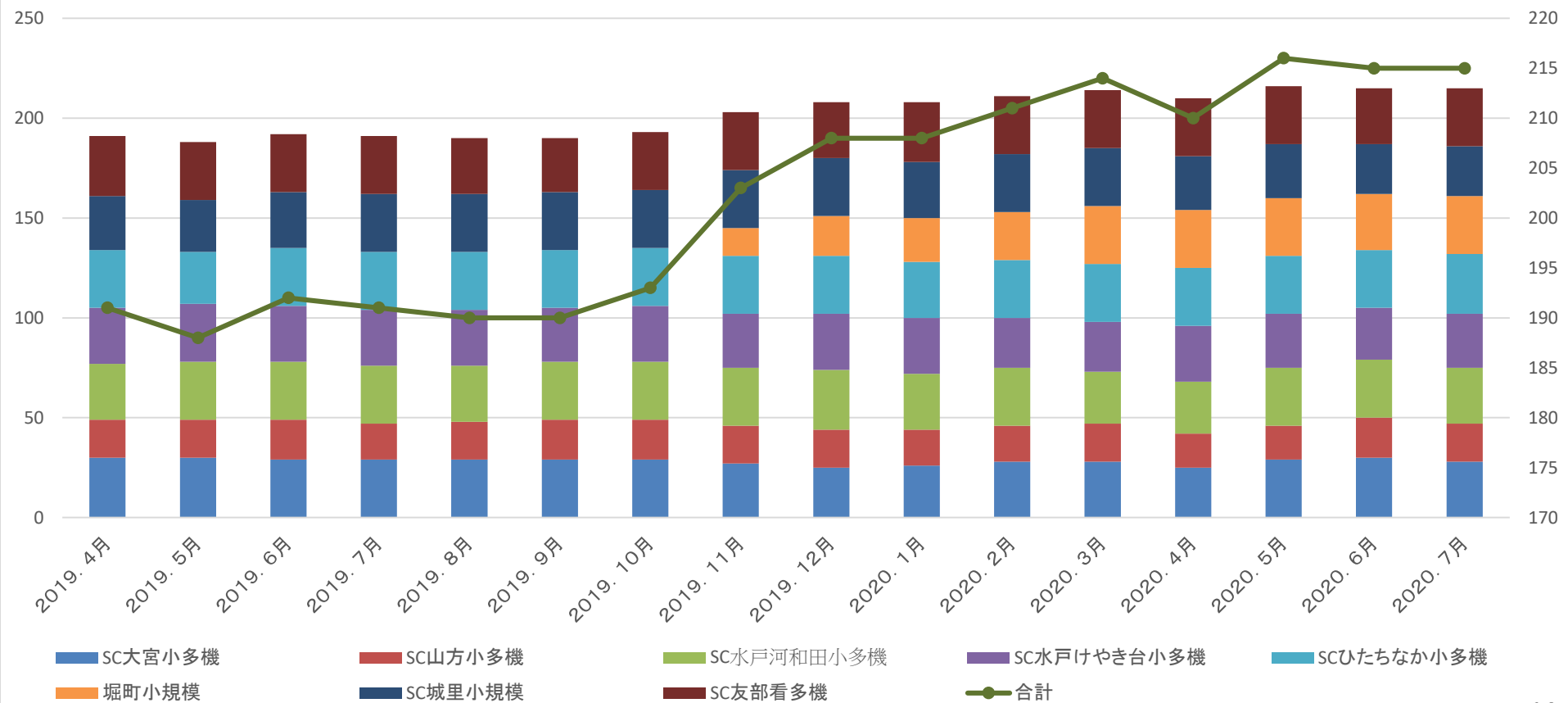


SFG 通所グループ(通所リハビリ・通所介護) 利用者延べ数推移



(看)小多機登録者推移

(看)小規模登録者推移



小規模多機能	2019. 4月	2019. 5月	2019. 6月	2019. 7月	2019. 8月	2019. 9月	2019. 10月	2019. 11月	2019. 12月	2020. 1月	2020. 2月	2020. 3月	2020. 4月	2020. 5月	2020. 6月	2020. 7月
SC大宮小多機	30	30	29	29	29	29	29	27	25	26	28	28	25	29	30	28
SC山方小多機	19	19	20	18	19	20	20	19	19	18	18	19	17	17	20	19
SC水戸河和田小多機	28	29	29	29	28	29	29	29	30	28	29	26	26	29	29	28
SC水戸けやき台小多機	28	29	28	28	28	27	28	27	28	28	25	25	28	27	26	27
SCひたちなか小多機	29	26	29	29	29	29	29	29	29	28	29	29	29	29	29	30
堀町小規模	0	0	0	0	0	0	0	14	20	22	24	29	29	29	28	29
SC城里小規模	27	26	28	29	29	29	29	29	29	28	29	29	27	27	25	25
SC友部看多機	30	29	29	29	28	27	29	29	28	30	29	29	29	29	28	29
合計	191	188	192	191	190	190	193	203	208	208	211	214	210	216	215	215

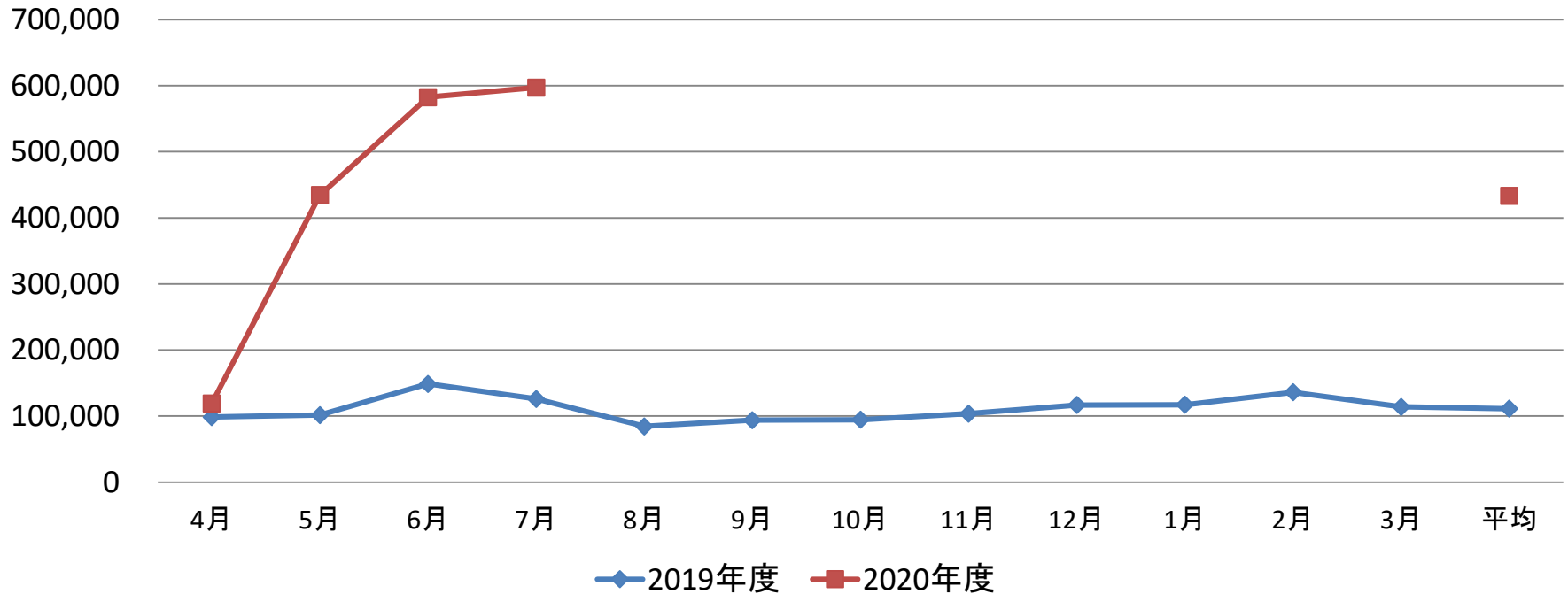
(看)小多機訪問件数推移

訪問件数(月別)



移動販売の売上推移(有限会社)

移動販売売上



コミュニティカフェ BAHNHOF オープン (地域活性化と医商連携)

2012年2月6日 OPEN

リハビリの歩行訓練や憩いの広場として
高齢者の作品展示ギャラリーとして
高校生や市民との交流スペースとして

コミュニティカフェ・パンホフ
Community Cafe BAHNHOF

コミュニティカフェ・パンホフでは、地域のみなさんが気軽に利用していただき、子育て世代や高校生、高齢者などが一緒に活動することが出来るコミュニティの拠点として地域の幸せ創りを目指しています。

常陸大宮



健康にプラスワン、新しくプラスワン。

健康カフェメニュー

- お茶
- ヨーヨー
- グリーンスムージー
- バナナミルク
- チョコレートミルク
- 手作りラスク
- 手作りクッキー
- 体の温まるカレー
- パパナ
- ヤクルト
- チョコレート
- 野菜スープ
- カレーライス

移動販売
あめ
せんべい
ようかん
カップラーメン
バナナ
ヤクルト
チョコレート
野菜スープ
等

「健康」移動販売車 プラスワン号

健康を積んで販売に伺います。

日常生活にプラスワン
住み慣れた地域で気軽に集まれる場所があれば、地域住民みんなが楽しい1日を過ごせるのではないのでしょうか。移動販売車「プラスワン」はみなさんが集まれる場所にプラスワンを提供したり、買い物に出る場所を提供いたします。なかなか買いたい物に行けない方には、ご希望の商品を直接お届けするサービスもご用意しています。管理運営士がメニューを考案する「移動カフェ」では、野菜をふんだんに使ったバランスのとれたメニューを提供いたします。

地域の健康維持のお手伝いになります。

- 健康体操指導
- 管理栄養士と食事教室
- 健康ミニ講座開催
- 3世代交流祭等の地域イベントのお手伝い

食事と運動で今の生活を維持しましょう
健康長寿の秘けとなる危険性が高いものとして「フレイル」「サルコペニア」が注目されています。サリールーニ健康推進センターが推進する「フレイル・サルコペニア」予防プログラムは、食事と運動の両面から健康を維持するためのプログラムです。健康推進センターが推進する「フレイル・サルコペニア」予防プログラムは、食事と運動の両面から健康を維持するためのプログラムです。

どこへでも行きます!

当グループにおける、コロナ禍で通所系サービスの利用休止となったケースの実態調査①

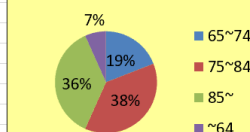
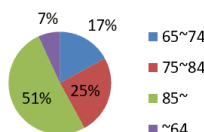
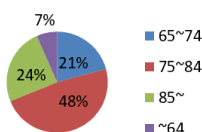
【エリア別属性】

1) 年齢分布

有意差あり $P=0.004$

有意に大宮エリアの年齢が高い

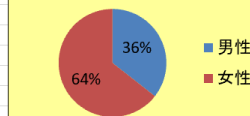
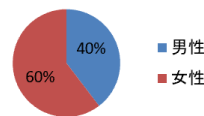
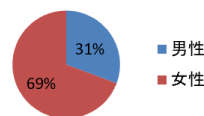
大宮エリア＜N=88、平均年齢82.2歳＞ 水戸エリア＜N=106、平均年齢78.8歳＞ 全エリア＜N=194、平均年齢80.4歳＞



3) 男女比分布

有意差なし $P=0.229$

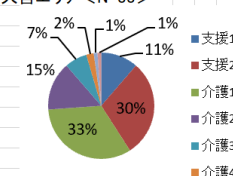
大宮エリア＜N=88、平均年齢82.2歳＞ 水戸エリア＜N=106、平均年齢78.8歳＞ 全エリア＜N=194、平均年齢80.4歳＞



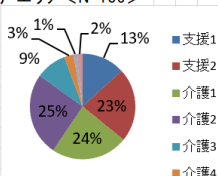
2) 介護度分布

有意差なし $P=0.557$

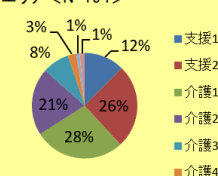
大宮エリア＜N=88＞



水戸エリア＜N=106＞



全エリア＜N=194＞



4) 休止期間(日数)

有意差あり $P=0.030$

有意に水戸エリアで休止期間が長い

	平均休止期間
大宮エリア	56.2日
水戸エリア	64.8日
全エリア	60.9日

＜属性の差異＞

今回分析を行ったケースでは、2つのエリアで介護度／性別に差は見られなかった。また、介護度については要支援1,2が54%、要支援1,2、要介護1,2合わせると73%を占めている。

休止期間は水戸エリアで有意に長く、これは県内の感染状況に見合った差ではないかと感じている。

当グループにおける、コロナ禍で通所系サービスの利用休止となったケースの実態調査②

【心身機能分析結果】

1) 握力

(1) 左右平均

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.063	194	17.0 → 16.7	16.3 → 15.5
水戸エリア	有意に低下 P=0.048	106	18.0 → 17.4	17.1 → 16.6
大宮エリア	有意差なし P=0.525	88	15.9 → 16.0	15.6 → 15.0

(2) 右

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.215	194	17.0 → 16.8	17.0 → 16.0
水戸エリア	有意差なし P=0.150	106	17.5 → 17.1	17.5 → 16.0
大宮エリア	有意差なし P=0.784	88	16.4 → 16.4	16.0 → 15.8

(3) 左

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.093	194	17.1 → 16.7	16.0 → 16.0
水戸エリア	有意に低下 P=0.032	106	18.4 → 17.7	16.5 → 16.3
大宮エリア	有意差なし P=0.918	88	15.4 → 15.6	15.3 → 15.4

2) 片脚立位

A. フリーハンド測定者

(1) 左右平均

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.232	76	13.3 → 12.3	8.0 → 6.2
水戸エリア	有意差なし P=0.286	45	13.3 → 12.2	8.8 → 7.0
大宮エリア	有意差なし P=0.611	31	13.3 → 12.5	7.8 → 5.4

(2) 右

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.223	76	14.1 → 13.1	6.9 → 5.5
水戸エリア	有意差なし P=0.181	45	15.8 → 13.4	7.4 → 6.9
大宮エリア	有意差なし P=0.781	31	11.6 → 12.7	5.3 → 4.9

(3) 左

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.116	76	12.5 → 11.5	6.8 → 6.4
水戸エリア	有意差なし P=0.224	45	10.8 → 10.9	6.2 → 6.4
大宮エリア	有意差なし P=0.327	31	14.9 → 12.3	8.0 → 5.8

B. T字杖使用の測定者

(1) 左右平均

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意に低下 P=0.006	72	20.2 → 17.0	15.7 → 11.5
水戸エリア	有意差なし P=0.561	35	20.0 → 18.9	14.9 → 14.7
大宮エリア	有意に低下 P=0.002	37	20.5 → 15.2	17.5 → 10.7

(2) 右

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.333	72	25.4 → 20.3	9.9 → 7.3
水戸エリア	有意差なし P=0.471	35	24.8 → 22.8	10.1 → 9.2
大宮エリア	有意差なし P=0.077	37	25.9 → 18.0	9.7 → 6.1

(3) 左

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意に低下 P=0.003	72	15.1 → 13.7	17.8 → 14.0
水戸エリア	有意差なし P=0.634	35	15.1 → 15.1	16.8 → 16.2
大宮エリア	有意に低下 P=0.001	37	15.1 → 12.4	17.9 → 10.9

3) TUG

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意に低下 P=0.000	180	16.3 → 18.2	13.6 → 14.3
水戸エリア	有意に低下 P=0.013	98	15.6 → 17.9	13.2 → 14.0
大宮エリア	有意に低下 P=0.002	82	17.1 → 18.6	14.4 → 14.5

4) HDS-R

	統計上の差	N数	平均値の推移	中央値の推移
全エリア	有意差なし P=0.561	156	23.6 → 23.6	25.5 → 25.0
水戸エリア	有意差なし P=0.760	75	24.3 → 24.3	26.0 → 26.0
大宮エリア	有意差なし P=0.631	82	17.1 → 22.9	25.0 → 25.0

＜心身機能の変化＞

筋力については指標が握力である事が影響し、即時的な反応は見られず、統計上維持されている。しかし一方で片脚立位(静的バランス)と、TUG(動的バランス)に低下が見られており、筋力低下等の原因は予測される。

また、静的バランスはT字杖測定者での低下が目立つ。この群は、歩行可能だが不安定もしくは何らかの歩行補助具を日常的に使用する方(最も転倒リスクが高いケース)であり、転倒リスクは増大している可能性がある。それを裏付けるように、動的バランスは全体を通して低下の傾向が見られている。

当グループにおける、コロナ禍で通所系サービスの利用休止となったケースの実態調査③

【生活機能分析結果】

5) BI

	統計上の差		N数	平均値の推移		中央値の推移	
全エリア	有意差なし	P=0.094	194	92.0	→ 91.5	95.0	→ 95.0
水戸エリア	有意に低下	P=0.014	106	91.8	→ 90.7	95.0	→ 95.0
大宮エリア	有意差なし	P=0.642	88	92.3	→ 92.6	95.0	→ 95.0

6) FAI

	統計上の差		N数	平均値の推移		中央値の推移	
全エリア	有意に低下	P=0.000	193	15.2	→ 13.7	16.0	→ 14.0
水戸エリア	有意に低下	P=0.000	106	14.6	→ 12.3	13.0	→ 12.0
大宮エリア	有意差なし	P=0.373	87	16.0	→ 15.6	17.0	→ 16.0

＜生活機能の変化＞

生活機能ではADL、IADLともに低下の傾向が見られている。大宮エリアでは維持されているが、これはエリア間での①生活習慣の違い(都市型、農村型)や、②コロナウィルス患者発生数が多い水戸エリアで外出する事をより控えている傾向が影響しているのではないかと考えられる。また「休暇期間の違い」の影響も受けている可能性もある。

【総評】

コロナの影響で通所サービスを休止したケースでは、期間こそ2か月ほどであるが、心身／生活機能の低下を引き起こしている結果であった。今回の分析からは、日常生活内（サービス利用時間外）の暮らし方がどのように変化したかがFAIの範囲内でしか見えていない為に限界はあるが、サービスを出来るだけ休止しない方法や或いは代替え手段を検討し、withコロナの暮らしを構築する中で「リハビリテーションでの生活サポートが必要である」可能性を高める結果と言えるのではないかと。

医療法人博仁会の沿革・概要



法人の沿革(概略)

昭和26年 志村大宮病院設立
平成8年 介護老人保健施設
大宮フロイデハイム開設
平成15年 茨城北西総合リハビリテーションセンター開設
(回復期リハビリ病棟・総合リハビリテーション施設)
平成20年 志村クリニックごぜんやま開設
平成21年 DPC対象病院
平成22年 在宅療養支援病院
平成27年 緩和ケア病棟開設

病院の概要

許可病床数 178床
(一般48床・地域包括ケア12床・緩和ケア20床
回復期50床・医療療養48床)
看護体制 一般:10対1
リハビリ 脳血管 I 運動器 I 呼吸器 I
診療科目 16科目
外来処方 院内・院外処方

外部機関認定・認証

日本医療機能評価機構 主たる機能:一般病院1 副機能:緩和ケア病院 リハビリテーション病院
付加機能:リハビリテーション機能 ISO9001・2015 プライバシーマーク くるみんマーク 健康経営優良法人

コロナ影響下での外来・入院対応

- ・電話診療の実施、オンライン診療の準備

オンライン診療デモ S・N様



コロナ影響下での外来・入院対応

正面玄関での検温を実施

※かかりつけ患者様に安心感を与える



【オンライン面会】



入院・入所・宿泊系サービスでタブレットを活用した
オンライン面会の実施

コロナ影響下での対応

- 当院独自の発熱者外来の設置
地域のかかりつけ医としての役割として迅速な対応



必要時必要な訪室・訪問と安全な見守り支援へ

入院・入所・住まい等に「見守りシステムの活用」

ICT活用で、必要以上に接触を避け、患者様・利用者様・職員の安全・安心へ

■このフロアのノートPCやスマートフォンで確認できます

導入実績

住宅型有料老人ホーム

認知症対応型共同生活介護

小規模多機能ホーム



203号室
呼び出し音が
鳴っています

居室にある
呼び出しボタン



204号室
ドアが開きま
した

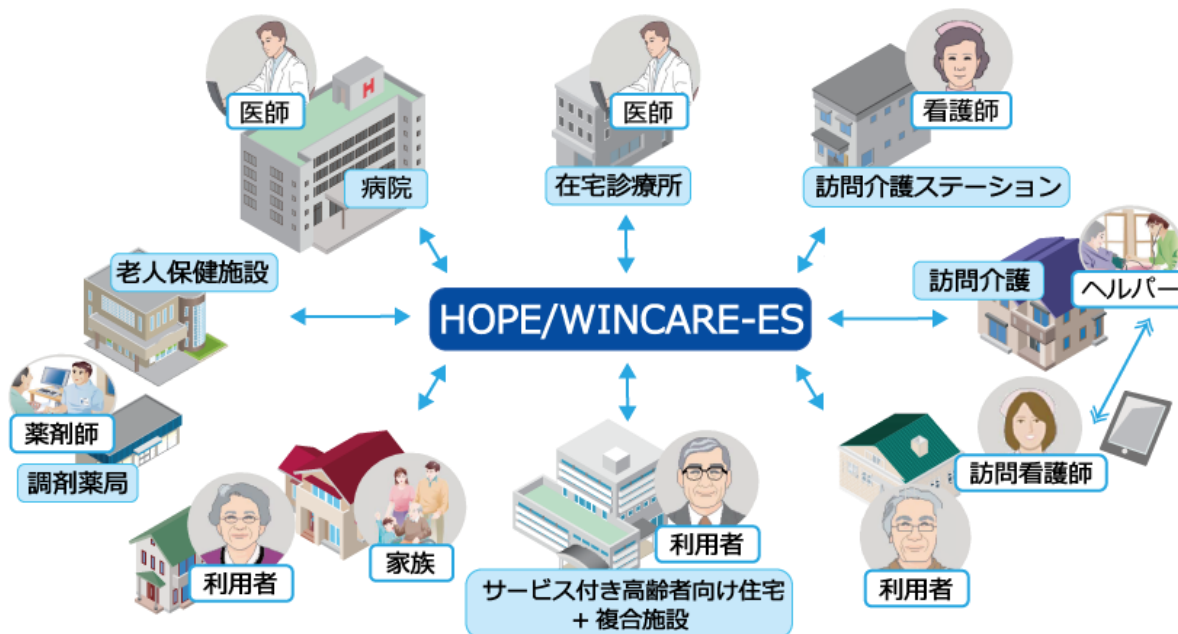
音でお知らせ！ かけつけるかどうかはスタッフが判断して対応をしています。

医療⇔介護の情報連携

■法人内情報連携・交換

医療⇔介護は「WINCARE」で連携
病院⇒ケアマネージャーの記録情報を閲覧
ケアマネージャー⇒病院の診療記録・血液検査・薬の処方内容

■法人外は一部「連携パス」、「MCS」で情報連携



医療と介護の連携

診療情報をケアプランに反映する

薬剤科との連携
薬剤師による勉強会の開催

訪問系サービスは在宅スマートデバイス（携帯端末）で情報が見られる

在宅スマートデバイスオプション ～訪問看護・訪問リハビリ・訪問介護・ケアマネジャー～



訪問先で記録することで、シームレスな情報共有が可能

- ・どこからでもスケジュール確認
- ・その場で記録/印刷
- ・空き時間に報告書作成



Bluetooth



モバイルプリンタで
印刷が可能

メディカルケアステーション（MCS） ～法人外との情報連携～

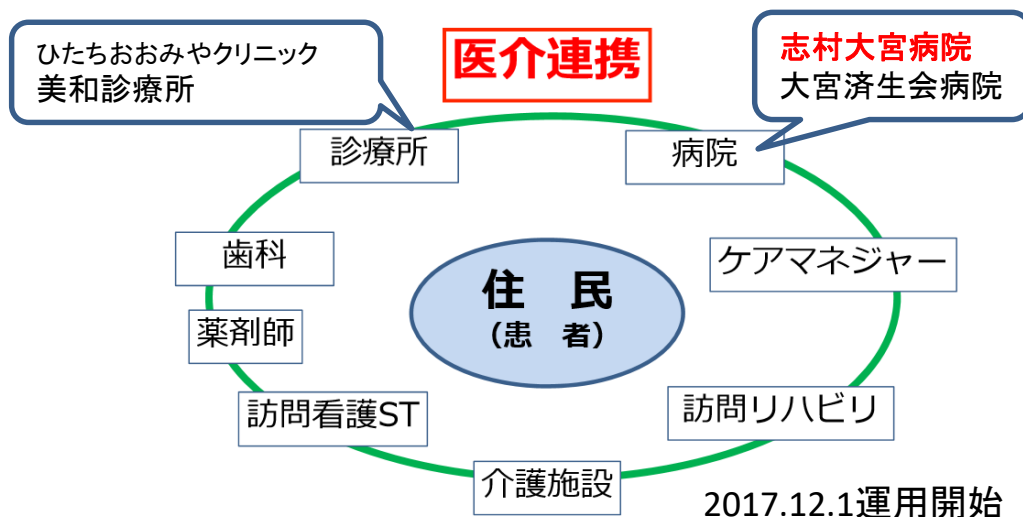
The screenshot shows the MCS interface with several key elements highlighted and labeled:

- 患者** (Patient): Points to the user profile at the top left.
- 参加者一覧** (Participant List): Points to the row of avatars below the header.
- 送信者** (Sender): Points to the message header for 'おおみや 訪問看護ステーション'.

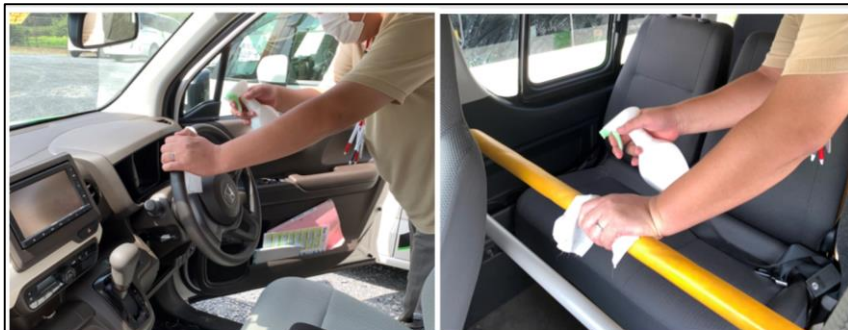
The message content includes a photo of a hand and text reporting on a patient's condition.

【参加医療機関】

- ・志村大宮病院
- ・常陸大宮済生会病院
- ・ひたちおおみやクリニック
- ・美和診療所



通所系事業の対策



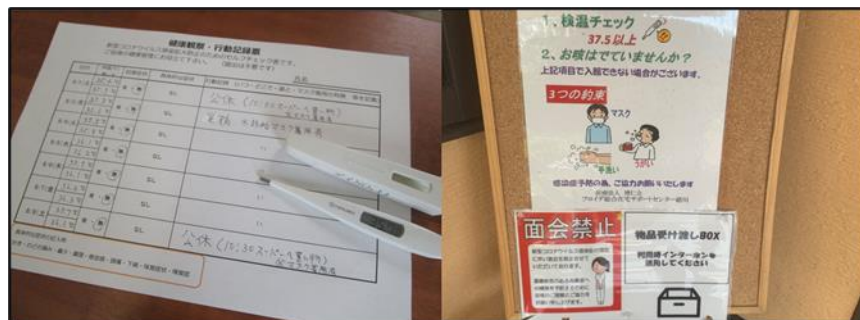
設備・送迎車両等の消毒

次亜塩素酸ナトリウム希釈液による設備等の消毒（随時）



手洗い・手指消毒

入室時及び昼食、活動開始時の手洗い・手指消毒の徹底



職員の行動記録及び体温測定

・行動記録作成・体温測定の実施

入館時の健康チェック・接触回避

・全利用者・来客者への検温チェック
・入退出の管理、制限



咳エチケット・フロア換気

・正しいマスク着用方法及び咳エチケットの実践・指導
・定期的な換気（1時間ごと10分程度）

通所系事業の対策



ソーシャルディスタンスの確保

- ・フロア、リハビリ室、食事提供、送迎等における一定間隔の確保



入浴介助時の対応

職員はフェイスガード着用にて介助実施



飛沫感染防止

- ・対面時におけるフェイスシールド着用上の体操提供
- ・入浴ケア時におけるフェイスシールド



設備消毒

- ・リハビリ機器やご利用者様が触れる設備の都度消毒を実施
- ・施設内は、毎日消毒を実施

今やっている事

-----志村フロイデグループ緊急地域支援チーム-----

集団から
個別へ

情報

地域包括支援センター
各地域のサポートセンター

今、困っているという情報が集約

ポイント

情報を収集できる仕組み

サービス
提供

志村フロイデグループ
緊急地域支援チーム

栄養ケア・
ステーション

★情報として共有する★

支援が必要な人

サポートセンター
を利用している

ヘルパー
を利用している

配食サービス
を利用したい

お達者クラブを
利用したい

何のサービスも
受けていない

緊急地域支援に
必要なサービス

- A: 買い物代行サービス
- B: 宅配サービス
- C: 配食サービス
- D: お達者クラブサービス
(運動・栄養指導・口腔ケア)
- E: カフェでのデリバリー
- F: 栄養アセスメント

志村フロイデグループ
緊急地域支援チーム

- ・小野さん
- ・寺門さん
- ・栄養科
- ・宮川さん
- ・木戸田さん
- ・西村

【CCS部が実施】
「B」宅配サービス
「A」買い物代行サービス
(有限会社の買い物代行サービスと連携)

【ヘルパーステーションが実施】
「A」生活支援

【カフェが実施】
「E」バンホフ・ミッテンファルト
【栄養ケア・ステーションが実施】

【配食サービスセンターが実施】
「C」配食サービス

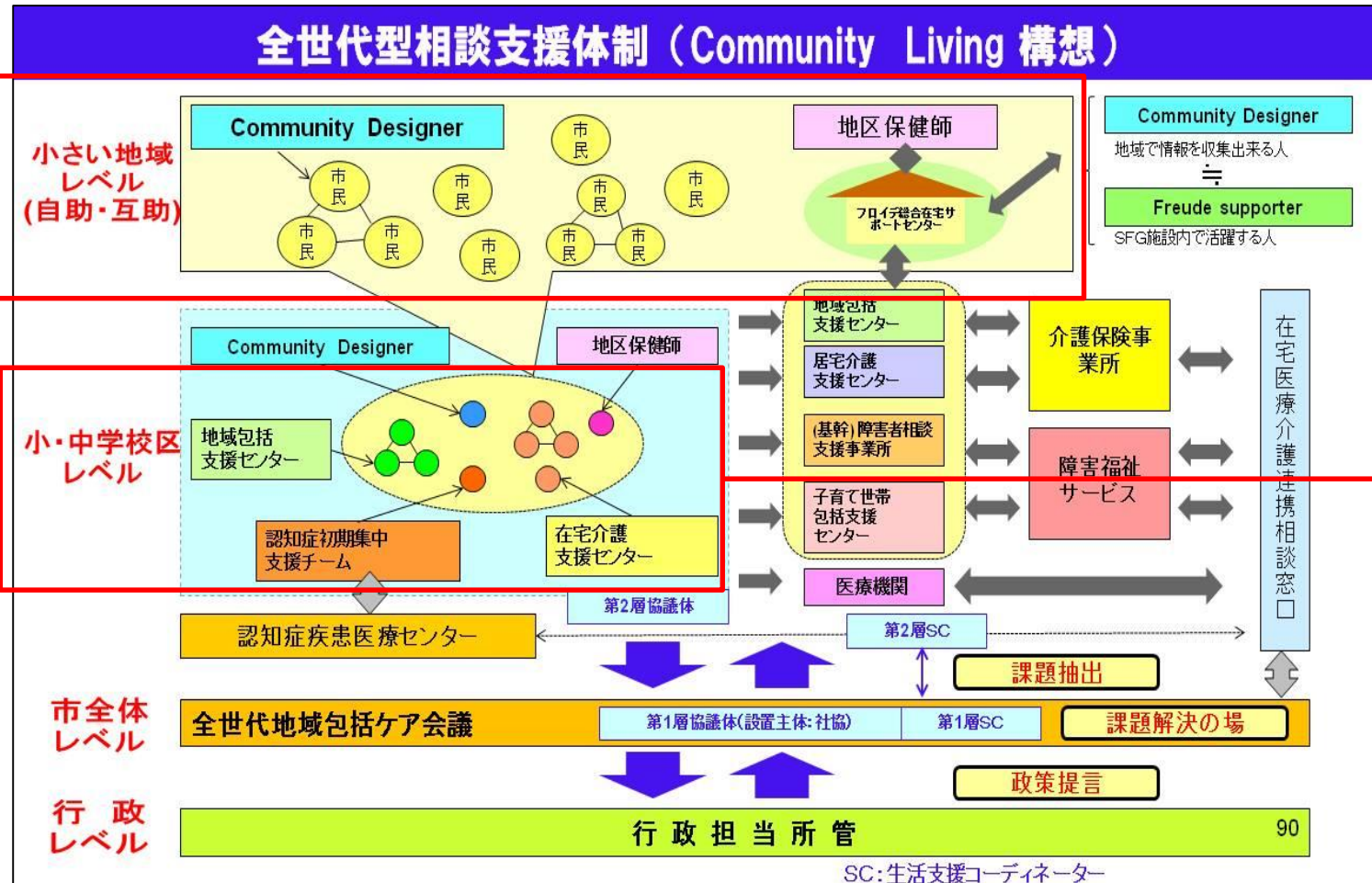
【地域包括ケアセンターが実施】
「D」WEBサロン
「他」DVD配布・販売

【有限会社で実施】
「A」買い物代行サービス
「B」宅配サービス
【まちづくり推進室で実施】
「他」WEBサロンの仕組み作り

【地域を支援する人材】

地域見守り協力隊・フロイデサポーター

●今、困っているという情報集約の仕組み



●小さい地域レベルでの**困りごとをキャッチ**できるか？

→取り組みが進んでいるの(サポートセンター緒川・御前山フロイデガルテン)

●小・中学校校区レベルでの**困りごとを類型化**できるか？

→地区レベルでの困りごとの内容が違わず。地区毎の特徴をつかむ

●顧客ニーズと自社組織のGAPを埋める

【顧客ニーズ】

※地域で困っていると思われる事(仮説)

- 買い物
(生鮮食品・日用品・保存食・その他)
- 食事
- 健康
- 話し相手

★表面化された困りごと(深掘りは可能か?)

【情報収集等】

- ※仮説を進化させるための情報が必要
- ・小さい地域レベルでの情報収集
 - ・地区レベルでの困りごとの類型化

【顧客ニーズ】

※地域で困っていると思われる事の
進化した仮説をたてる

【進化した仮説に対して】

- ※新しい顧客ニーズに対応出来る
サービス提供は可能か?
- ※サービス提供のために
必要な人材はいるか?教育したか?

【自社組織】

※提供出来るサービス

- 買い物代行サービス
- 宅配サービス
- 配食サービス
- お達者クラブサービス
(運動・栄養指導・口腔ケア)
- カフェでのデリバリー
- 栄養アセスメント

【自社組織】

※サービス提供のために必要な人材等

- CCS部
- ホームヘルプステーション
- 配食サービスセンター
- いばらき総合介護サービス
- 栄養ケア・ステーション
- 地域見守り協力隊
- フロイデサポーター

STEP①

マッチングさせるII地域支援

デジタル

アナログ

STEP②

【真の地域支援】

- ・新しいサービス提供の実現(アナログ●文通)
- ・深層部分の地域支援の実現

今、やっている事

STEP①レベル：地域ニーズと自社サービスとのマッチング＝地域支援

やっている事	関係部署等	内容	効果
各サポートセンターでの販売会	CCS部 いばらき総合介護サービス	野菜、パン、カップラーメン等販売。日用品は事前にニーズ調査を実施して当日持参。	いばらき総合介護サービスの売上アップ(月30万円以上～)
買い物代行サービス	御前山フロイデガルテン いばらき総合介護サービス フロイデサポーター	希望の商品の買い物代行	キオスクプラッツの売上アップが期待出来る
買い物支援(生活援助)	ホームヘルパーステーション	生活援助サービスの提供 買い物サービス(自費)	サービス件数アップが期待できる 介護保険サービスであれば利用単価が高い
配食サービス	配食サービスセンター	美和地域の配食サービスのニーズがありそう ※特養みわのサービス提供減少が要因	配食サービスの件数アップが期待できる。 ※効率性は要検討
健康維持、運動	地域包括ケアセンター CCS部 まちづくり推進室・管理部	WEBサロンの実施 WEBを使った運動動画の提供 博仁会LINE登録増加活動(現在:50名)	インターネット環境を利用して博仁会ファンの増加
地域の情報収集 (小さい地域・小中学校区)	CCS部 地域包括ケアセンター 認知症疾患医療センター	電話での調査 アンケート調査 訪問時のヒアリング	

あんしんサポート体制

【買い物支援】

訪問販売頻度 月4回開催



SNS等を利用した映像によるサービス



YouTubeでの映像配信

○通所休止者・地域住民向けのフレイル予防として10分程度の動画を作成し配信



①既存のチャンネルで配信



②体操の内容の説明



③5つの運動を実施



④次回の運動内容を告知

広報方法

○通所休止者へ連絡 ○各施設SNSを使用しての広報 ○居宅事業所等へのサービス開始の案内



○DVDの環境がない方には
体操メニューを配布

ネット環境の整ってない方への対応

○配信映像をDVDにて配布



★ Ⅲ.筋力増強運動 P21

○つまみスクワット(20回×2セット)

①両足を肩幅に開き、つま先を前に向けて立ちます。
②背中中は伸ばしたまま、足首・膝・股関節を曲げ腰を落とします。この時、踵が浮かない、膝頭がつま先より前に出ないことに注意します。

① ②

○つま先立ち運動(20回×2セット)

①両足を肩幅に開き、つま先を前に向けて立ちます。
②つま先立ちになり、踵をしっかりと持ち上げます。踵が内側に向かないように気を付けます。

① ②

★ Ⅱ.バランス運動② P15

○肘と膝のタッチ運動(10回×2セット)

①足を肩幅に開き、両腕を90度に曲げ腕の高さに上げます。
②腕の位置はそのままにし、片足を挙げて肘と膝をくっつけます。これを交互に繰り返しましょう。

① ②

緒川地区におけるSC緒川の取り組み（今できること）



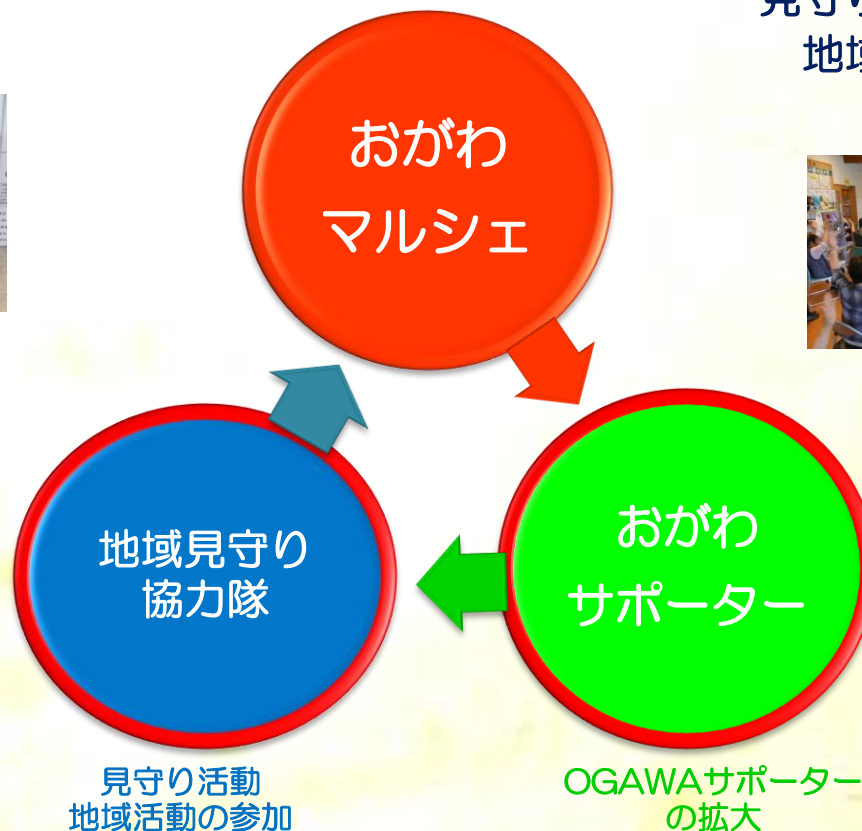
地域見守り協力隊
おがわマルシェ開催
全世代参加型
地域活性化への取り組み



見守りから地域活性化へ
地域で支える活気ある緒川へ



- 地域見守り協力隊
& 見守り活動の推進
地域活動への参加
- 地域見守り協力店
- 地域活性化に向けて
地域の方との交流の機会を作り各種行事や地域祭・学校や行政など積極的につながりを構築する



地域の方や
元気高齢者の
活躍をサポート
サポーターの拡大

- 体操教室/健康講座
- おがわマルヅ カフェ
- 地域サロン&
年輪クラブ
- 地域支援活動や
第2層協議体の活動に
主体的に参加

緒川オレンジカフェサポーター

令和2年度緒川オレンジカフェ予定

開催時間 14:00～15:30

★日程:勉強会の内容★

令和2年 6月24日(水):認知症予防プログラム具体例

9月23日(水):認知症とは

12月23日(水):認知症の方への対応について

令和3年 2月24日(水):認知症の方とともに暮らす社会

場所:フロイデ総合在宅サポートセンター 緒川

住所:常陸大宮市上小瀬1417-1 ファミリーマート裏

TEL: 0295-54-3751 担当: 藁部・藤田

オレンジカフェサポーター活動

①オレンジサポーターへ
認知症予防資料配布及び勉強会

7名 訪問実施

②認知症予防資料の回覧依頼

下郷区・上小瀬地区

③認知症予防資料の緒川支所での設置
(認知症疾患医療センター監修資料)



サポーター宅への訪問



地区への回覧



緒川支所での資料設置

緒川 ピンピン★キラリ★運動カフェサポーター

令和2年度

緒川ピンピン★キラリ★運動カフェ予定

令和2年 5月：自宅で体操

令和3年

7月12日(日) 10:00～13:00

1月10日(日)

9月13日(日) 10:00～13:00

2月14日(日)

11月8日(日) 10:00～13:00

3月14日(日)

12月13日(日) 10:00～13:00

場所：フロイデ総合在宅サポートセンター緒川
住所：常陸大宮市上小瀬1417-1 ファミリーマート裏
TEL：0295-54-3751 担当：藤田

健康サポーター及び 運動カフェ参加者への活動

- ①おがわ健康サポーター
 - ・地域支援活動依頼
 - ・7月～開催に向けての打合せ
- ②運動カフェ参加者へ
 - ・体操資料説明
 - ・訪問にて健康相談
 - ・7月19日(日)
開催に向けて案内配布



HELP 買物支援いたします!!

地域見守り協力隊
フロイデ総合在宅サポートセンター緒川

地域見守り協力加盟店・あんしん介護サービス
(みむらストア様・バーハイ様・ファミリーマート様・ヘアサロントップ様)の協力を得て
～食料品・生活品・パン各種買物・理美容も支援します～

新型コロナウイルス感染症
外出自粛要請などで
買い物にお困りの方
できる限りサポート
させていただきます。

感事症予防
対策を実施して

緒川地区地域見守り協力隊
本部：フロイデ総合在宅サポートセンター緒川
TEL：0295-54-3751 担当：鶴部

令和2年5月 買物支援の取り組み

①見守り協力店&あんしん介護
を活用した訪問販売

10回 開催

②職員による買物代行プロジェクト
2週/1回 日曜

③サポーターを活用した買物支援
随時対応



バーハイパン屋さん



みむらストアー



おがわサポーター

SC緒川 地域活性化への取り組み

地域見守り協力隊&おがわマルシェフレゼンツ



＼おがわにエール／お届け企画

緒川地域見守り協力隊☆おがわマルシェフレゼンツ

1/19 まごころデリバリー 緒川地区限定

感染症などで外出に不安のみなさんの為、この日限定のお届けメニューなどを、ご用意しました。おがわサポーターさんが代金とお引き換えで、ご自宅にお届けさせていただきます。※この日ご注文いただいた方にあんしん介護サービス様より経口補水液（OS1）をもちろん1本差し上げます。



みむらストアーさん（下小瀬）
限定 ポリューム満点おいしいお弁当を
（具：唐揚げ・肉汁・白きり・卵・シューマイ）召し上がれ

緒川エール弁当 500円（税込）



バーハイパン屋さん（北塩子）
本日限定 とってもおいしい
油を使わない焼きカレーパン
とヘルシー紫いもパン

各150円（税込）



ファミーMartさん（上小瀬店）
ファミーの定番 ファミチキ

＆ちょとピリ辛スパイシーファミチキ

ファミチキ180円（税込）/スパイシー140円（税込）

※500円以上からのご注文をお願いいたします。数に限りがありますので、なくなり次第終了となります。サポートセンター緒川での、テイクアウトはできませんのでご了承ください。

日時：令和2年7月19日（日）

受付時間8:00～12:00

TEL0295-54-3751

主催：緒川地域見守り協力隊
フロイデ総合在宅サポートセンター緒川

おがわにエール★お届け企画

緒川地区限定の

デリバリーサービスの実施

目的

1. 全世帯参加型 地域活性化 に向けた取り組み

コロナに負けない！！地域に元気を

2. 地域の方へ法人活動の宣伝

博仁会lineアカウント登録

バンホフデリバリーチラシ

法人内サービスの広報

3. 地域支援活動&

おがわサポーターの拡大

オレンジ・健康・マルシェサポーター

見守り協力隊・支援・サポーター活動拡大

7/19 まごころデリバリー

●まごころデリバリー参加協力店

あんしん介護サービス

みむらストア様

バーハイパン屋様

ファミリーマート上小瀬店様

●配達内容: OS-1, エール弁当50食

限定パン40set・ファミチキ20set

法人&支援活動、パンホフデリバリーチラシ等

●配達内訳: 合計19件

地域住民・民生委員: 12件

地域企業・7社

鈴木工機・藤田サッシ店・好珠設備・ 向後鮮魚店・サンリツ電気・ヘアサロントップ
(鈴木工機様⇒新たに見守り協力隊加盟)

●配達協力サポーター

オレンジサポーター・岡崎様

見守りサポーター・三村様



〈活動内容〉

OSC緒川・あんしんサポート体制

- ・買物支援：地域見守り協力店・あんしん介護 / 販売会 月10回
- ・食事支援：おおみや/ごぜんや配食サービス/見守り協力店（ファミリーマート）
- ・訪問型理美容サービス：見守り協力店（ヘアーサロントップ）
- ・高齢者サポーター支援：自宅で出来る体操資料配布
認知症予防資料配布（認知症疾患医療センター監修）
新型コロナウイルス感染予防対策資料配布

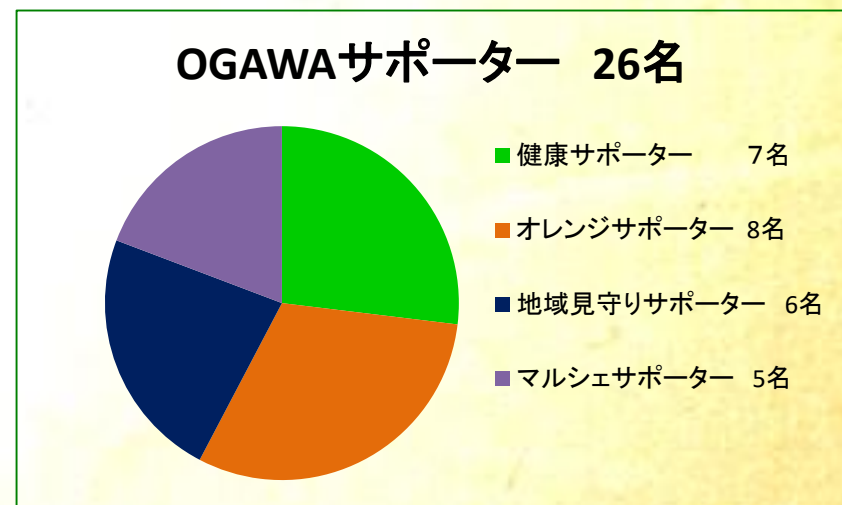
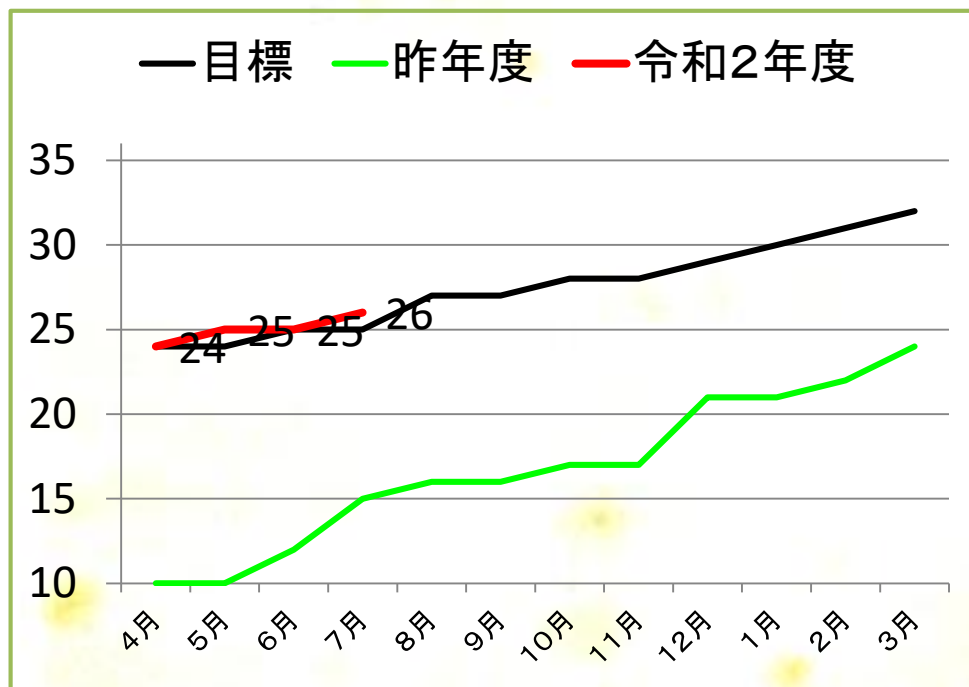
(対象)

緒川登録利用者、オレンジサポーター7名、健康サポーター7名
健康講座参加者30名、見守り協力店、地域住民

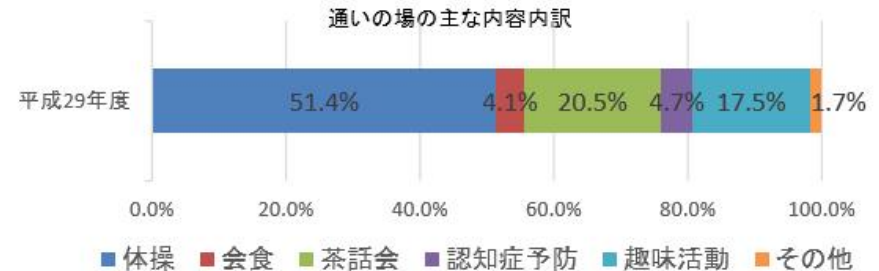
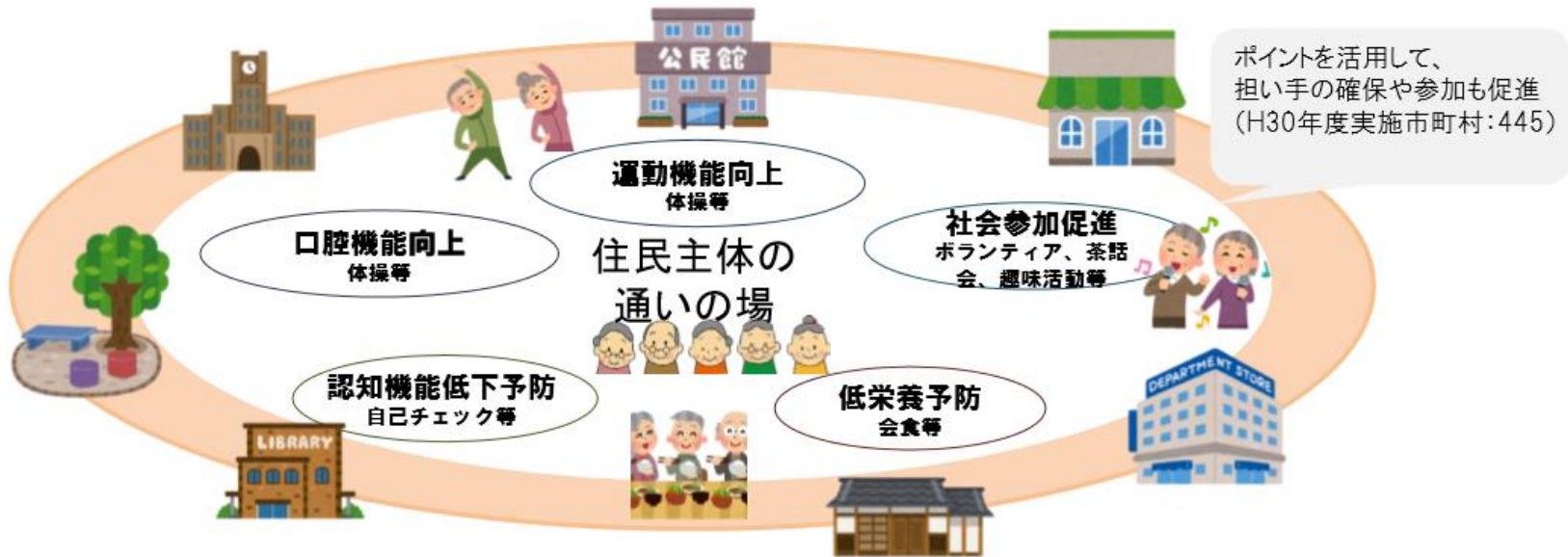
今月の取り組み

- 緒川各種地域祭が中止になり地域活性化の取り組みとして
7/19 **おかわミニマルシェ**を開催予定・見守り協力店と協議して
⇒販売会/運動教室/**ステイホーム企画**（サポーターと宅配サービス）
- 認知症予防資料や体操資料等、役場・民生委員・区長を通して
緒川多数世帯へ回覧依頼し、地域支援活動推進
- 地域包括/在宅介護支援センター/第2層協議体メンバーと
情報共有し、独居の方や地域の方へ生活支援活動拡大

OGAWAサポーター登録者数



住民主体の通いの場等（地域介護予防活動支援事業）



新型コロナウイルスの影響で「住民主体の通いの場」が休止状態。

⇒独居等の高齢者に対するICT環境整備

⇒オンラインを活用した「オンライン交流」も検討していきたい。

Webサロン



コロナ前



Withコロナ
動画配信を活用した介護予防

SNSの動画配信機能を活用した介護予防



医療法人 博仁会



LINE公式アカウント

友だち募集中！

最新イベント情報や
市民健康教室の情報をお届けします！

LINEの「友だち追加」画面からこちらのQRコード
またはID検索で追加をお願いいたします。

QRコードで登録

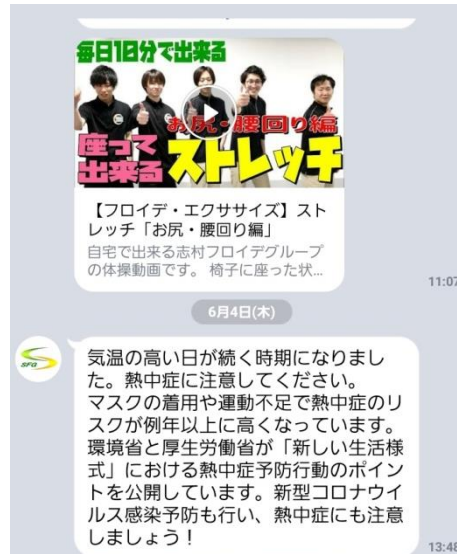


または

ID検索で登録

@695puhxx

上記IDを入力して、検索！



体操動画「フロイデ・エクササイズ」



管理栄養士監修レシピ



自宅へ訪問してスマートフォンの設定や
使い方を覚えることをサポート

登録者数
130名
R2.6.10現在

常陸大宮市役所のホームページとリンク

～ 自宅で自粛中の市民がみられる体操動画 ～

暮らし
Living

子育て・健康・福祉
Parenting, Health & Welfare

教育・文化・スポーツ
Education, Culture & Sports

ビジネス・産業
Business & Industry

市政
Municipal Government

ホーム > [新型コロナウイルス関連情報](#) > 市民の方へ

子育て・健康
福祉
Parenting, Health & Welfare

- > [新型コロナウイルス感染症について](#)
- > [市民の方へ](#)
- > [事業者の方へ](#)
- > [学校関係](#)
- > [施設情報](#)
- > [イベント・行事情報](#)
- > [国・県からのお知らせ](#)

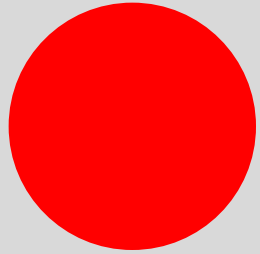
市民の方へ

- [自宅でできるストレッチの動画配信](#)
- [子育て世帯への臨時特別給付金（公務員）について](#)
- [新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮](#)
- [【働く妊婦さんへ】新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置について](#)
- [【外国人の方へ】新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ](#)
- [「健康チェック表」について](#)
- [【妊婦さんへのマスク配付について】](#)
- [【マル福（医療福祉費）】郵送によりできるお手続きをご案内します](#)
- [【後期高齢者医療保険】郵送によりできるお手続きをご案内します](#)
- [【国民健康保険】郵送によりできるお手続きをご案内します](#)
- [「高齢者の閉じこもり対策」シルバーリハビリ体操の動画配信](#)

常陸大宮市のホームページに
志村フロイデグループの
体操動画がリンクされています。

ブックマーク
Bookmark

元気なうちからセーフティネットを築く



【赤信号】

家族や地域の人たちだけでは支えきれないレベル。
専門職の介入が必要な段階。

⇒共助・公助レベルで社会保障を圧迫する

* 病院患者数
2,917名

* 介護保険サ
ビス利用者
1,340名



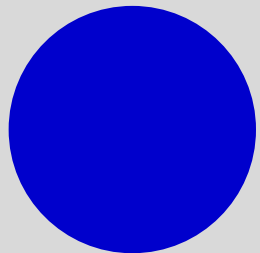
【黄信号】

家族や地域の人たちだけで支えられるレベル。
しかし何かしらの生活に困難を抱えているレベル。

⇒互助レベル（住民主体）＋専門職派遣

⇒黄色から赤色は連動しやすい

* サロン・健康教
室参加者数
223名



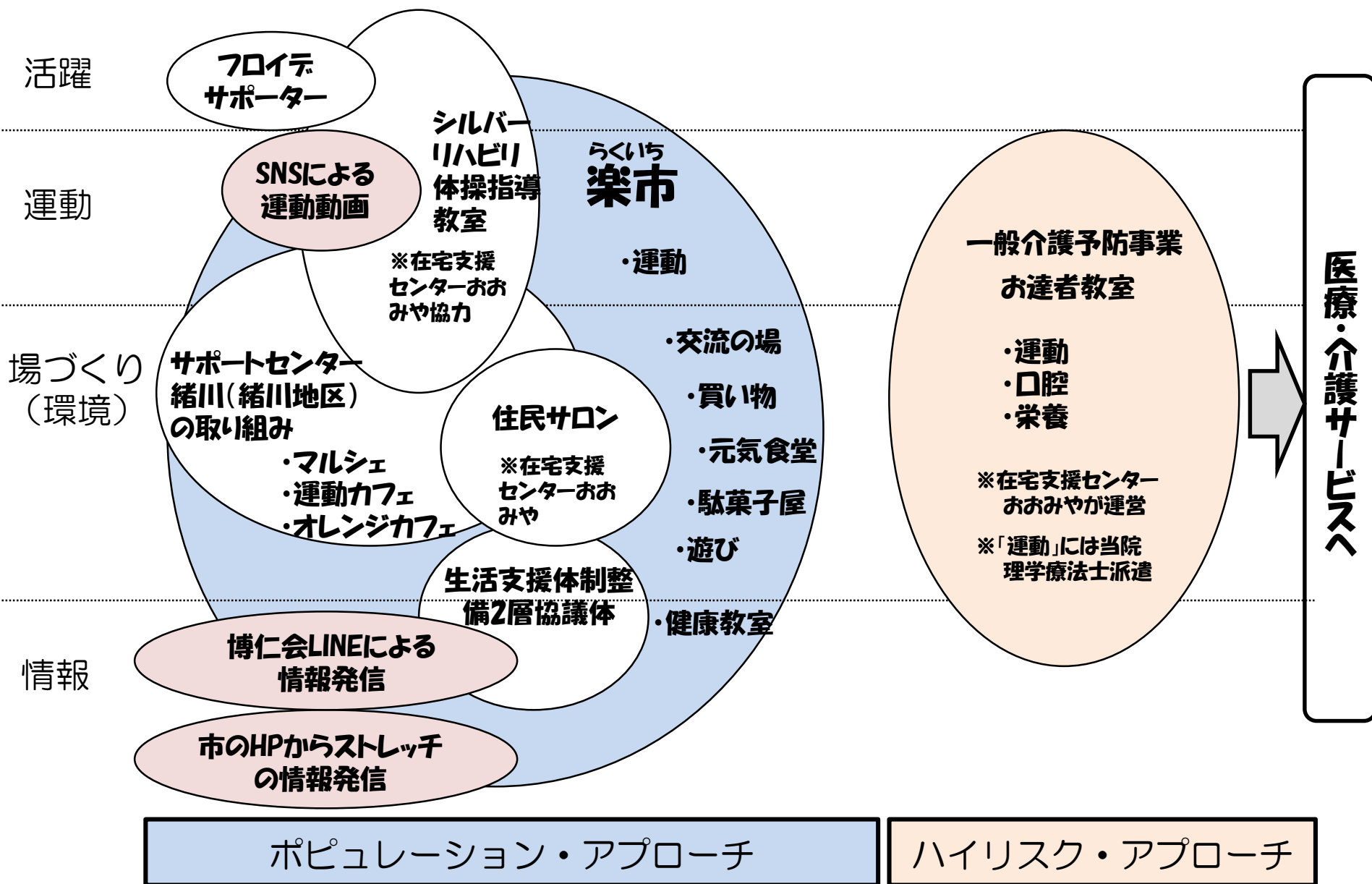
【青信号】

自分のことは自分でできるレベル。
（自助レベル）

* 楽市・協議体・
認知症サポー
ター養成講座等
参加者数
1,066名

- ・黄色や青色の人が集まれる場を増やす（黄色：介護予防教室やサロンなどは意識高い系が集まりやすい）
- ・青色：誰が行ってもいい場所をつくる必要がある（≡地域活性化&ソーシャルインクルージョン）
- ・黄色信号の対応をしっかりとやることで赤信号対応者を減らす（官民連携の強化）

健康な人の社会・環境面に着目した取組み



With コロナ時代における医療を取り巻くマクロ環境分析

Politics 政治	・診療報酬の特例措置 ・医療機関に対する補助金の支給
Economy 経済	・医療機関の経営状況の悪化 ・マスク、消毒液等の需要増加
Society 社会	・外来受診を控える ・運動不足など生活習慣の悪化 ・3密回避による社会的孤立の増加
Technology 技術	・オンライン診療の加速 ・SNS等を用いて健康に関する情報発信



【示唆】

- * 事業の多角化(医療介護福祉複合事業等)を行いリスクの分散を行う
- * 感染拡大防止のための医療材料等の備蓄
- * 在宅医療の推進による医療チームのアウトリーチ
- * ‘治す’だけでなく社会経済背景にも着目した生活支援体制の構築
- * オンライン診療に限らずSNS等を活用した相互交流型で専門職との関係性構築

健康とは

健康とは、**身体的、精神的、社会的**に完全に
良好な状態であり、単に病気がないとか虚弱で
ないということではない

*Health is a state of complete physical, mental and social well-being
and not merely the absence of disease or infirmity*

(WHO)

新型コロナにより、リアルでの
社会的活動が難しくなった

コントロールできる

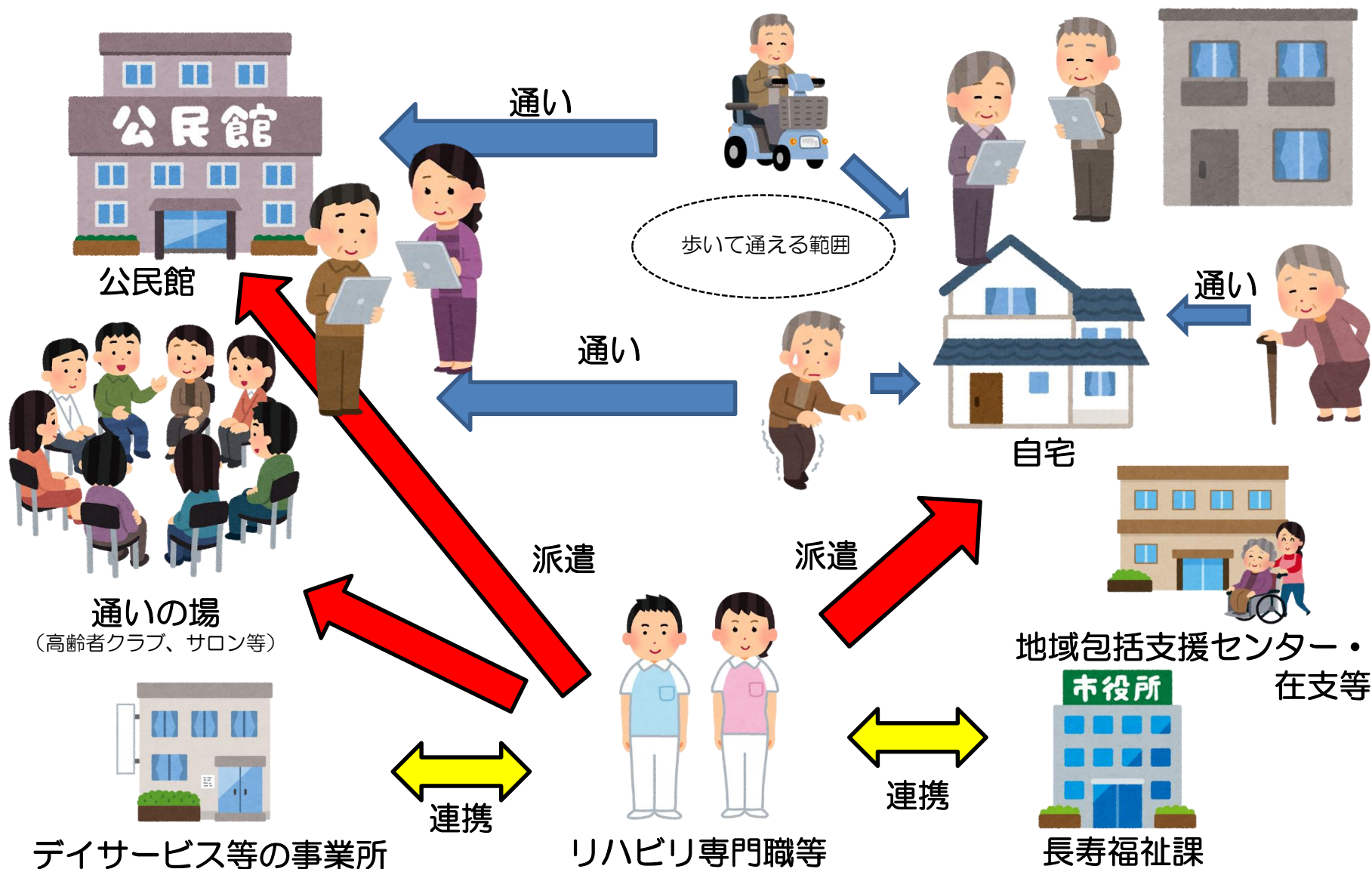
●地域社会活動に参加できる

⇒家庭、近所、職場など

●地域の中で

➡ 健康増進活動をするのに、**社会・環境的**
な側面からの介入が必要になる。

通いの場等による社会活動（運動等）へのリハビリ専門職派遣



リアルとオンラインのハイブリッド型での関わりが重要になる

患者様・ご家族様・職員を守るために

ICTとオンラインを活用した
地域包括ケアシステムの推進が必要